



Dr.生田 進一のワンポイント

神戸市サッカー協会医事委員長



(生田進一／神戸市サッカー協会 医事委員長 /六甲病院整形外科)

【ドーピング】

(Jリーグドーピングコントロールコーディネーター生田進一)

昨年のオリンピックでハンマー投げの室伏選手が、金メダリストのドーピングにより、銀から金メダリストになったことは、記憶に新しいことと思います。ドーピングとは、競技能力向上を目的として禁止物質あるいは禁止方法を使用することであり、また、禁止物質が競技者から採取した検体中に存在することである。禁止物質及び禁止方法は、競技能力を向上させる可能性があるもの、競技者の健康を害する可能性があるもの又はスポーツ精神に反するものであり、禁止物質あるいは禁止方法の使用を隠蔽する物質および方法も禁止対象となる。

日本では、Jリーグを始め、陸上、水泳、柔道、自転車、ボディビル、パワーリフティングでドーピング検査が行われています。平成15年度より国体でもドーピング検査が始まり、順次全競技者が対象になる予定です。Jリーグの場合、J1・J2とも毎節各1試合どこかでドーピング検査が行われています。ちなみにJリーグ発足よりドーピング陽性者は一人も出ていません。葛根湯などの漢方薬には麻黄を含むものがあり、これには禁止物質のエフェドリンが含まれています。また、市販の感冒薬にはほとんどエフェドリンが含まれていますので、これらを服用すれば、ドーピング陽性となります。また、強精剤の一部には、メチルテストステロン(蛋白同化剤)が含まれ、一発でドーピング陽性となります。このメチルテストステロンで、日本の有名な陸上選手が、4年間の資格停止となっています。

コーヒーに含まれるカフェインは尿中の濃度で規制されていますので、試合前に3杯以上飲めば、ドーピング陽性となる可能性があります。(1杯のコーヒーには約120mgのカフェインが含まれています。認められている尿中カフェインの上限は12 μ g/mlです。)日本人はフェアな選手がほとんどですが、過去のドーピング陽性者を見ると、ドーピングに対する知識不足が多い様です。例えば、新ルルA錠を服用して失格とか。今後、国体レベル以上の一流選手となる方は注意して下さい。



[<戻る>](#)